

# 日通グループ経営計画2018

## —新・世界日通。—

2016年3月31日  
日本通運株式会社  
代表取締役社長  
渡邊 健二

1. 基本方針

2. 経営目標

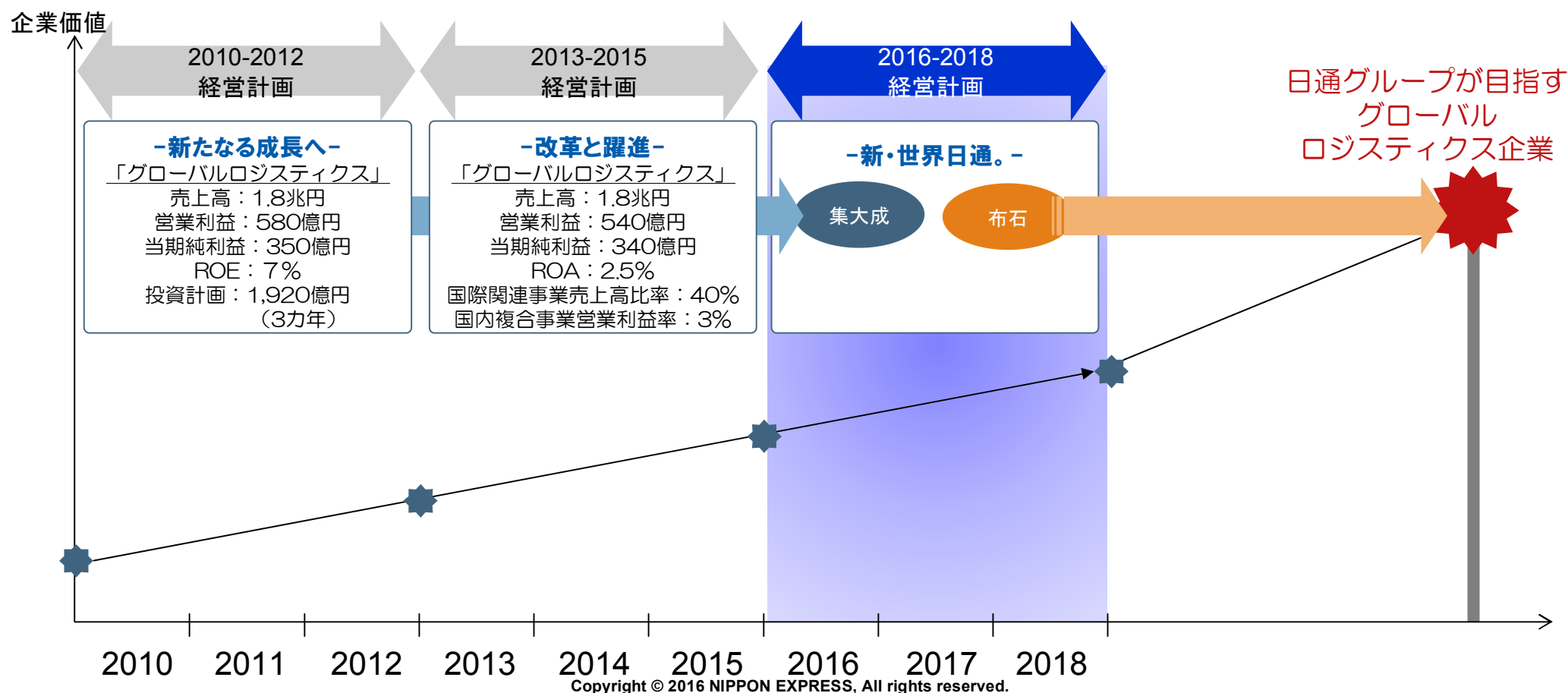
3. 重点戦略-エリア戦略

4. 重点戦略-機能戦略

# 1. 基本方針 [経営計画の位置づけ]

本経営計画は、「前々計画2012・前計画2015」で示した日通グループ経営施策の総仕上げとなる「3力年の経営計画」である。当社グループにおける中長期の方向性を示し、将来の持続的な発展への基礎固めとする3年間でもある。前経営計画期間中に実施した事業構造改革を踏まえ、国内（日本）事業の収益性を更に向上させ、真のグローバルロジスティクス企業となるべく、注力する事業領域と成長地域へのBtoBに特化した集中投資を行い、利益に拘るグループ経営を推進する。

\* BtoB (Business to Business / ビジネス・ツー・ビジネス) : 企業間取引



# 1. 基本方針 〔経営計画重点戦略構成〕

国内(日本)事業の収益性を更に向上させ、真のグローバルロジスティクス企業となるべく、注力する事業領域と成長地域へのBtoBに特化した集中投資を着実に実行する。

## 日通グループ経営計画2018

### 重点戦略

|      |                 |
|------|-----------------|
| 機能戦略 | 営業力の徹底強化        |
|      | コア事業の強化と高度化     |
|      | グループ経営の強化       |
|      | 経営基盤の強靱化        |
|      | グループCSR経営の更なる強化 |
|      |                 |

### エリア戦略

#### 日本

の両立  
『成長性』と『収益性』

#### 海外

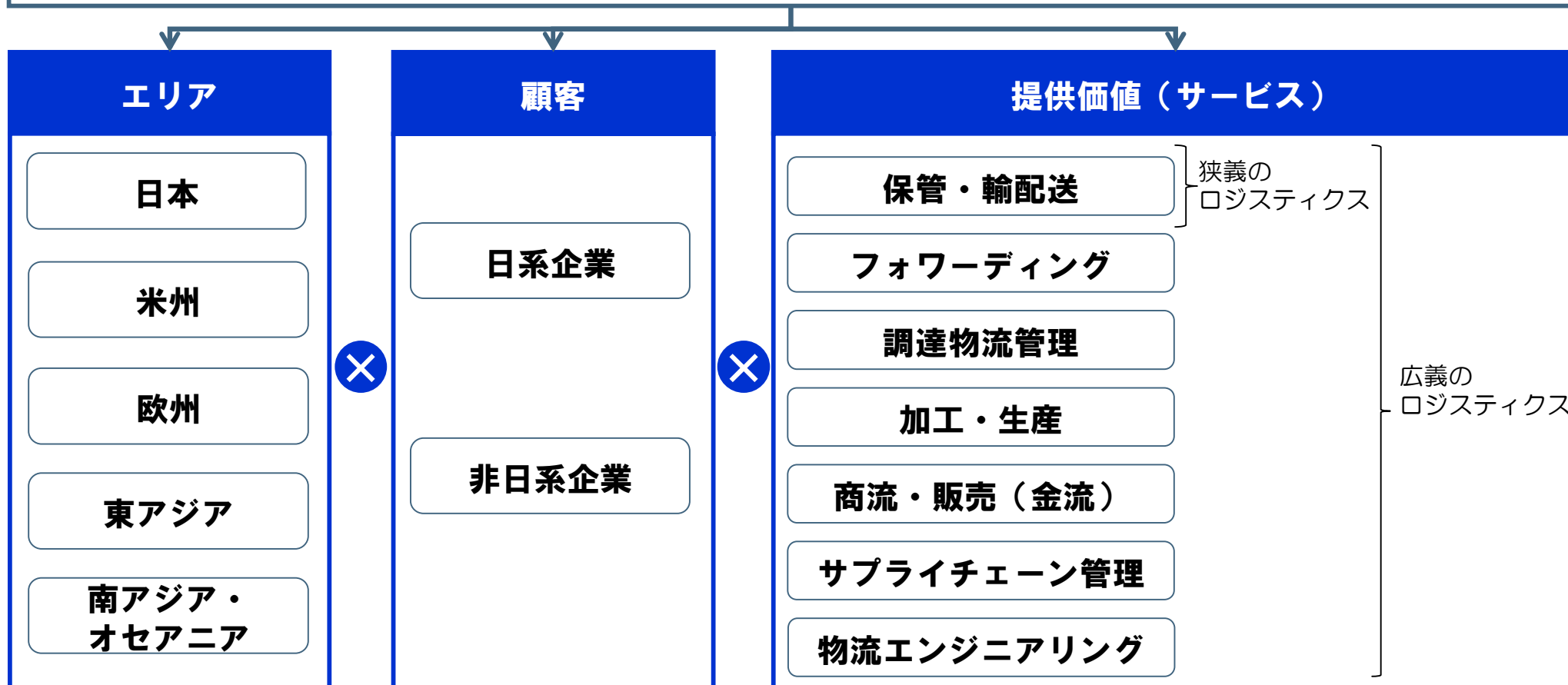
牽引  
日通グループの成長を

日通グループの  
目指す姿

『グローバル  
ロジスティクス企業』

# 1. 基本方針 [グローバルロジスティクス]

日通グループが目指す『グローバルロジスティクス』



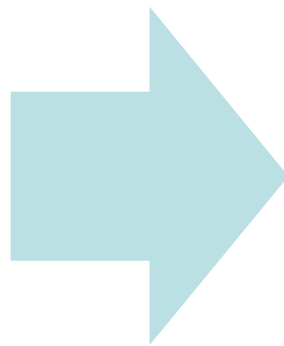
世界の国々や地域において、物流を核としたサプライチェーンソリューションを提供して、お客様のグローバル展開に貢献していく

## 2. 経営目標 [新報告セグメント]

全事業を、ロジスティクス（日本、米州、欧州、東アジア、南アジア・オセアニア）、  
警備輸送、重量品建設、物流サポートに分類

旧報告セグメント

|        |       |            |
|--------|-------|------------|
| 運<br>送 | 国内会社  | 複 合 事 業    |
|        |       | 警 備 輸 送    |
|        |       | 重 量 品 建 設  |
|        |       | 航 空        |
|        |       | 海 運        |
|        | 計     |            |
|        | 海外会社  | 米 州        |
|        |       | 欧 州        |
|        |       | 東 ア ジ ア    |
|        |       | 南アジア・オセアニア |
|        |       | 計          |
|        | 計     |            |
|        | 販 売   |            |
|        | そ の 他 |            |



新報告セグメント

|                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| ロ<br>ジ<br>ス<br>ティ<br>ク<br>ス | 日 本         |
|                             | 米 州         |
|                             | 欧 州         |
|                             | 東アジア        |
|                             | 南アジア・オセアニア  |
|                             | 計           |
|                             | 警 備 輸 送     |
|                             | 重 量 品 建 設   |
|                             | 物 流 サ ポ ー ト |

注) 物流サポート：日通商事、日通総合研究所、日通キャピタル、  
日通不動産、キャリアロード、日通自動車学校、他

## 2. 経営目標

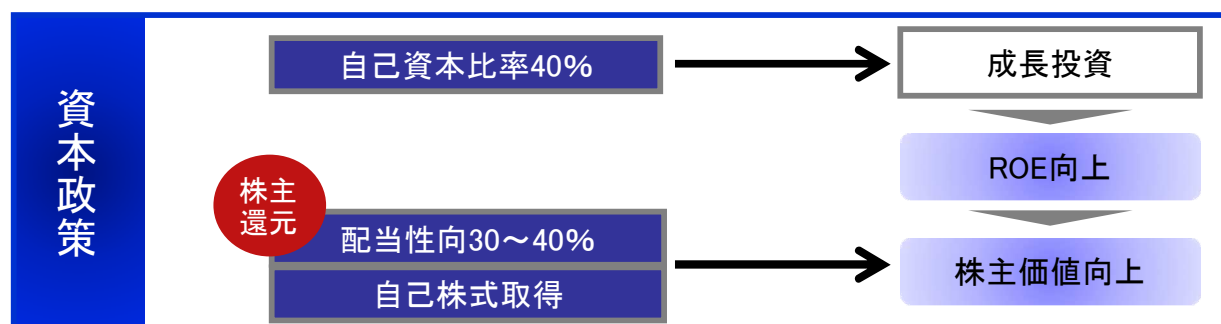
数値目標(2019年3月期 達成目標)

|             |           |
|-------------|-----------|
| 売上高         | 2兆1,500億円 |
| 営業利益        | 750億円     |
| 当期純利益       | 450億円     |
| 国際関連事業売上高   | 8,600億円   |
| ROA(総資産利益率) | 2.8%      |
| 投資計画(3ヵ年)   | 2,000億円   |

セグメント別数値目標(2019年3月期 達成目標)

(単位:億円)

| セグメント   |            | 売上高(*) | 営業利益(*) |
|---------|------------|--------|---------|
| ロジスティクス | 日本         | 13,000 | 480     |
|         | 米州         | 1,000  | 56      |
|         | 欧州         | 900    | 38      |
|         | 東アジア       | 1,350  | 42      |
|         | 南アジア・オセアニア | 1,050  | 36      |
| 警備輸送    |            | 560    | 17      |
| 重量品建設   |            | 530    | 33      |
| 物流サポート  |            | 4,720  | 104     |



\* セグメント間取引消去前の数値

# 収益性の向上

### 3. 重点戦略 — エリア戦略(日本)

## 『成長性』と『収益性』の両立

### 事業構造改革の深化

#### ★地域特性に適応した事業展開

東京・名古屋・大阪を始めとする  
大都市圏におけるグローバル企業  
との取引拡大

地域顧客のニーズに応じた  
ロジスティクスサービスの提供

#### ★国内事業の強化と新規事業軸の構築

自動車運送事業におけるネットワークの強化

引越事業の改革

海運事業の横串・組織化

警備輸送事業におけるキャッシュ・  
ロジスティクスの強化

不動産事業の再構築

新たな産業プラットフォームの構築

### 3. 重点戦略 — エリア戦略(日本)

#### 地域特性に適応した事業展開

##### 【大都市圏におけるグローバル企業との取引拡大】

- 顧客起点の営業強化
- 経営資源の選択と集中、効率化を推進

##### 【地域顧客のニーズに応じたロジスティクスサービスの提供】

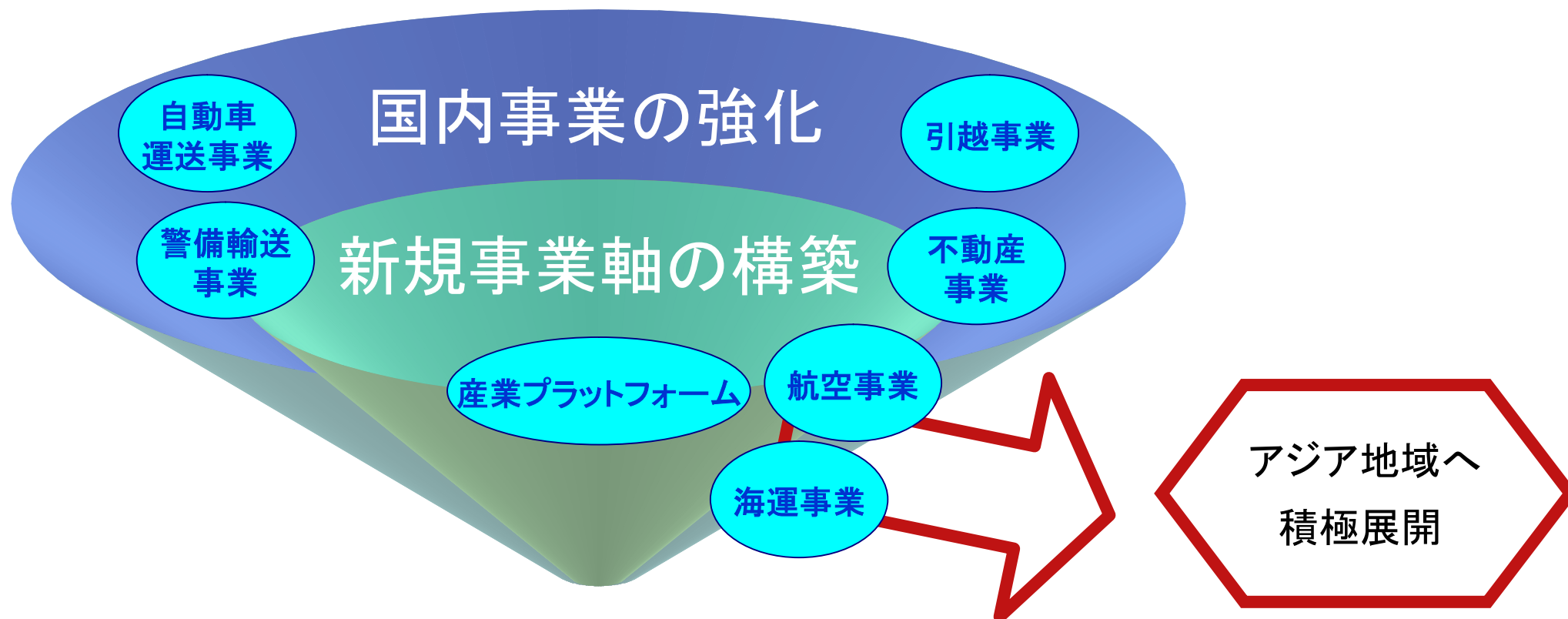
- 日通グループの物流機能を最大限に提供
- 「地域密着型営業」を強力に推進



日本における物流需要を確実に取り込むことで  
「成長性」と「収益性」の両面の実現を目指す

### 3. 重点戦略 — エリア戦略(日本)

#### 国内事業の強化と新規事業軸の構築



国内事業の強化と新規事業軸の構築を推進し、  
「成長性」と「収益性」が両立可能な事業基盤を構築

### 3. 重点戦略 — エリア戦略(海外) —

## 日通グループの成長を牽引

アジアへの経営資源の集中投下

【アジアにおいて圧倒的な地位を確立】



グローバルレベルでの成長を実現

★地域特性に適応した事業展開

米州、欧州、東アジアでの収益性向上

南アジア・オセアニアにおける成長

★強みを持つ事業の海外展開強化

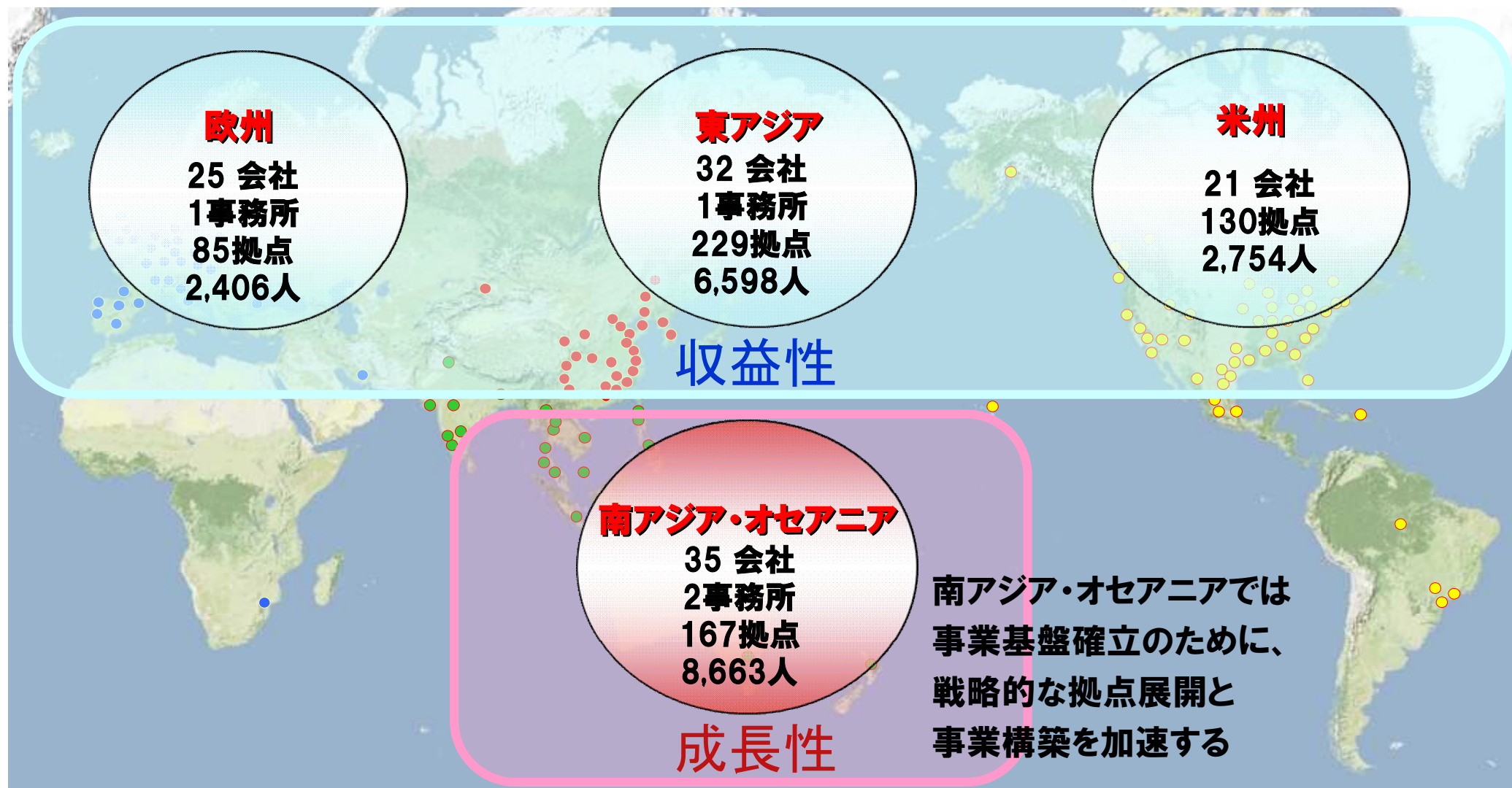
重量品建設事業のグローバル展開

海外引越事業における事業領域の拡大と  
非日系顧客の開発

# 3. 重点戦略

## ーエリア戦略(海外)

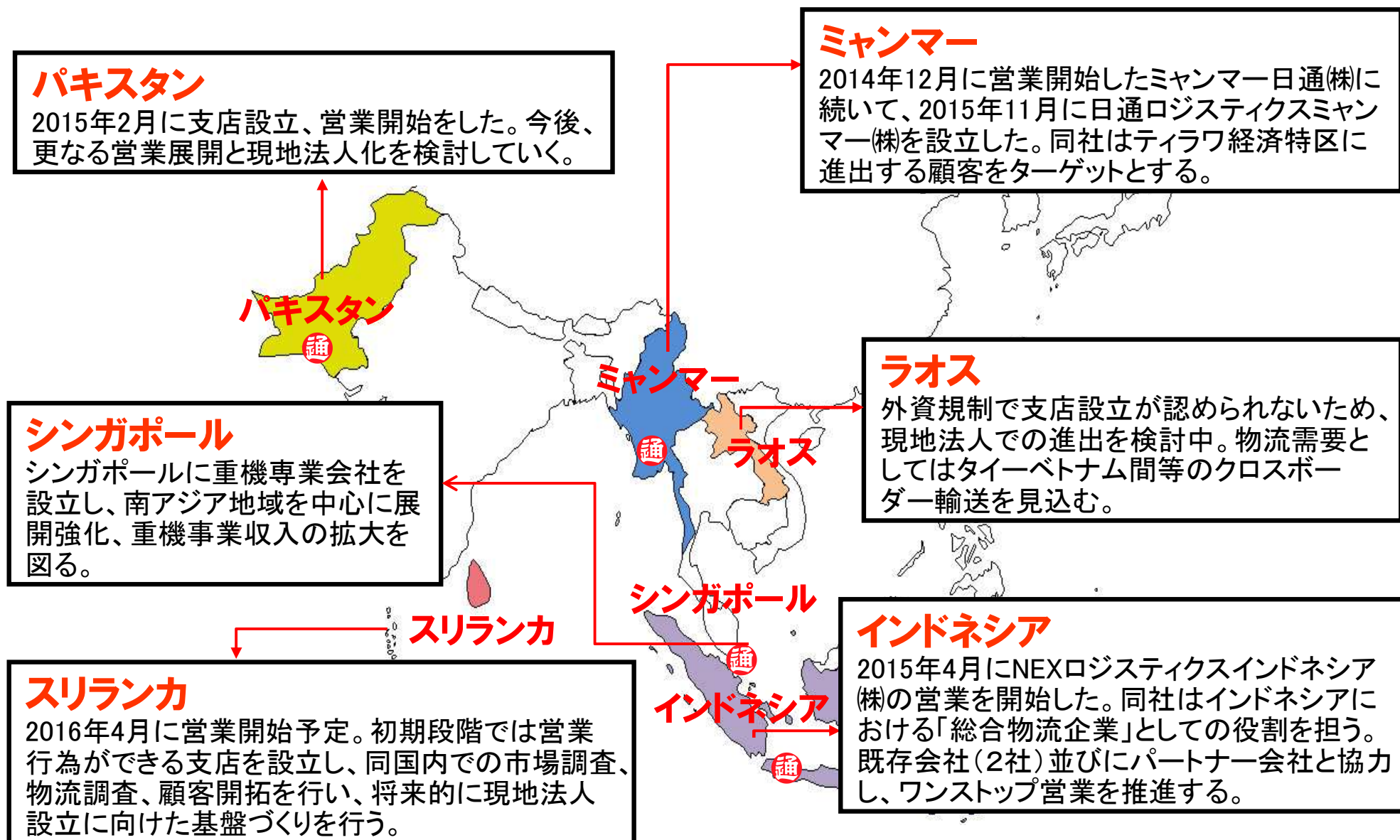
重点産業(自動車、アパレル、電機精密、医療医薬)を一層強化すると共に、収益性を確保できる新たな産業分野(航空機、鉄道、生鮮品、食品など)の業容を拡大



# 3. 重点戦略

## ーエリア戦略(海外)

### 南アジア・オセアニアにおける新規地域・事業展開



# 3. 重点戦略

## ーエリア戦略(海外)

### 重量品建設事業のグローバル展開

アジアにおける電力や運輸等のインフラ分野への強い投資ニーズ



重量品建設事業の成長機会が多数存在



日本・海外が連携のもと積極的な事業展開を図る



南アジアを中心に、パートナーとの業務・資本提携も視野



## 4. 重点戦略 —機能戦略(営業力の徹底強化)

ワンストップ営業の徹底、アカウントマネジメントの強化

### 顧客起点での営業力強化

#### ★ワンストップ営業の徹底

顧客サプライチェーンへの貢献領域の拡大

既存顧客の新規案件獲得

LLPとしての事業領域の拡大

既存事業の水平展開

#### ★アカウントマネジメントの強化

重要顧客に対するロジスティクス提案強化

産業別営業の推進

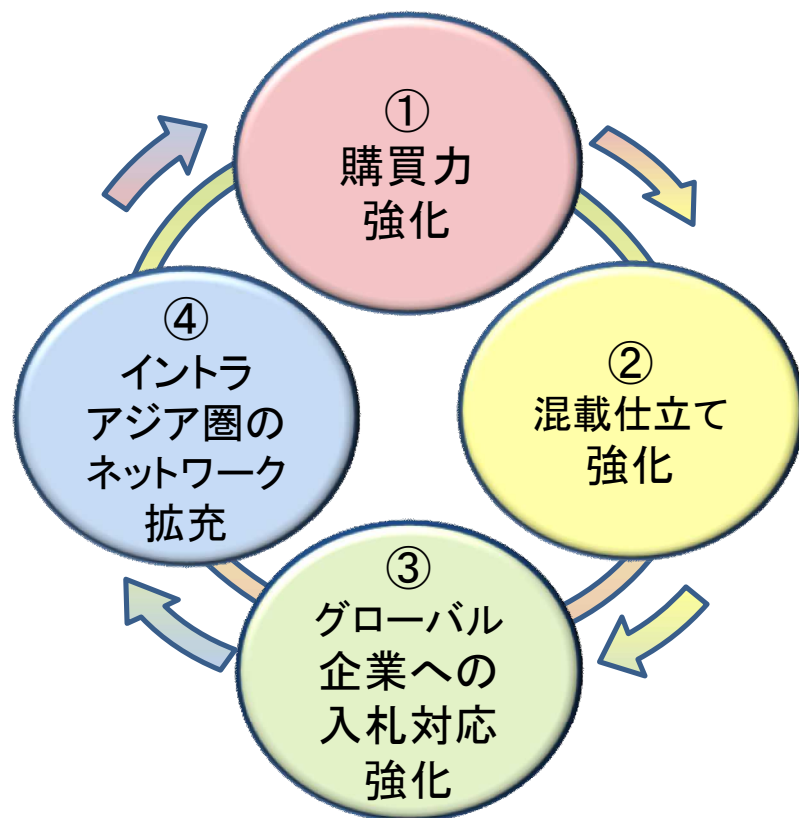
非日系企業への営業拡大

顧客別収益管理の強化

# 4. 重点戦略

## ー機能戦略(コア事業の強化と高度化)

### グローバルフォワーディングの競争力向上による拡大



#### ① 購買力強化

グローバルレベルでの全体数量を基にした購買交渉へ移行し、利用費削減を実現。

#### ② 混載仕立て強化

効率的な混載仕立ての実施により、競争力のある販売価格を提供。

#### ③ グローバル企業への入札対応強化

グローバル企業(日系・非日系)への入札対応を強化させ、数量(シェア)の拡大を実現。

#### ④ イントラアジア圏のネットワーク拡充

イントラアジア圏におけるネットワークを拡充し、フォワーディングの強固なインフラを構築。

## アジア発着トラフィックの取扱い拡大

## 4. 重点戦略

### ー機能戦略(グループ経営の強化)

#### 日通グループの企業価値向上に資するM&A

① 航空・海運フォワーディングネットワーク、及び新興国における域内・国内輸送事業会社  
日通グループが未参入、若しくは取扱い実績の少ないレーンにおいて強みを持つ企業

② 新規事業領域

新規事業の創出に必要な顧客、機能、技術、商品、サービスを保有する企業

③ 地域・顧客の補完と拡充

日通グループが弱い地域・顧客層を補完し得る企業

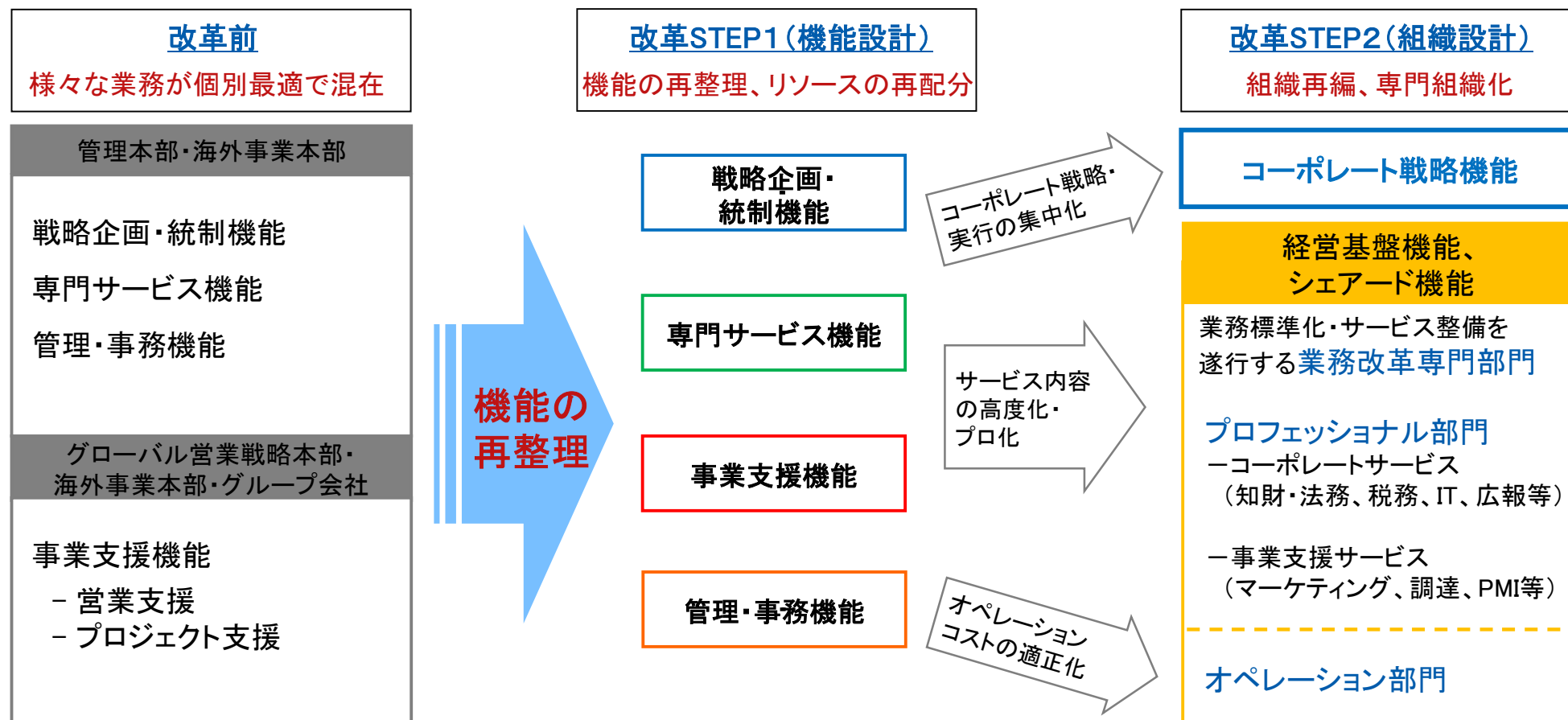


**グローバルロジスティクス事業の拡大  
企業価値向上**

# 4. 重点戦略

## —機能戦略(経営基盤の強靱化)

本社管理・企画機能を整備し強化することで、経営の柔軟性、迅速性を高める



## 4. 重点戦略 —機能戦略(グループCSR経営の更なる強化)

### エコドライブ啓発システムをグローバルレベルで導入し、燃費効率向上によるCO2排出量削減を具現化

2014年6月20日、ベトナムでのエコドライブの取り組みが、環境省の二国間クレジット制度(JCM)\*に採択。

場所：ベトナム ホーチミン、ハノイ

対象：ベトナム日本通運トラック130台

内容：デジタルタコグラフを活用したエコドライブ啓発システムを装着。

燃料給油量、走行距離、運転行動等のデータをクラウドネットワークを介して収集・分析。ドライバーには、このデータに基づいて運転行動の改善を指導、成果に応じた評価を与えることで運転行動の改善を促す。

\*JCM: 二国間クレジット制度(JCM)は、途上国への温室効果ガス削減技術・製品・システム・サービス・インフラ等の普及や対策を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への日本の貢献を定量的に評価し、日本の削減目標の達成に活用するもの。



デジタルタコグラフ





本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。